

症例検討

症例2〈呼吸器〉

解説

【選択肢】

- ①硬化性肺胞上皮腫
- ②多形腺腫
- ③粘表皮癌
- ④カルチノイド
- ⑤扁平上皮癌

【選択肢】

①硬化性肺胞上皮腫

②多形腺腫

③粘表皮癌

④カルチノイド

⑤扁平上皮癌

多形腺腫 Pleomorphic adenoma

定義 義：上皮細胞，筋上皮細胞，粘液様あるいは軟骨様基質からなる腫瘍。
唾液腺に発生する多形腺腫の組織像と相違はない。

発生頻度：気管・気管支原発腫瘍のうち1%以下。

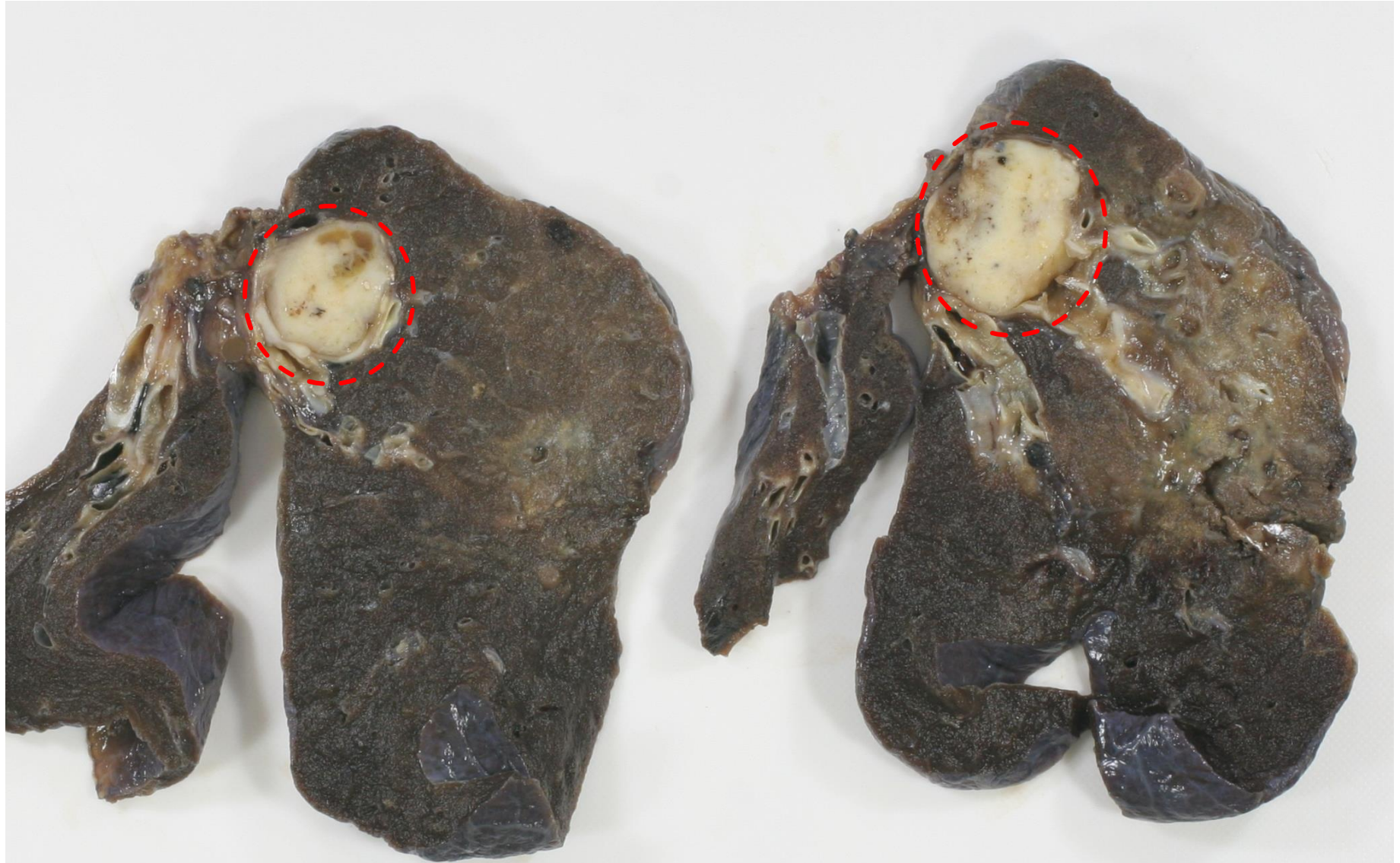
発症年齢：11～74歳。

60歳代，70歳代に多い。

性差：なし

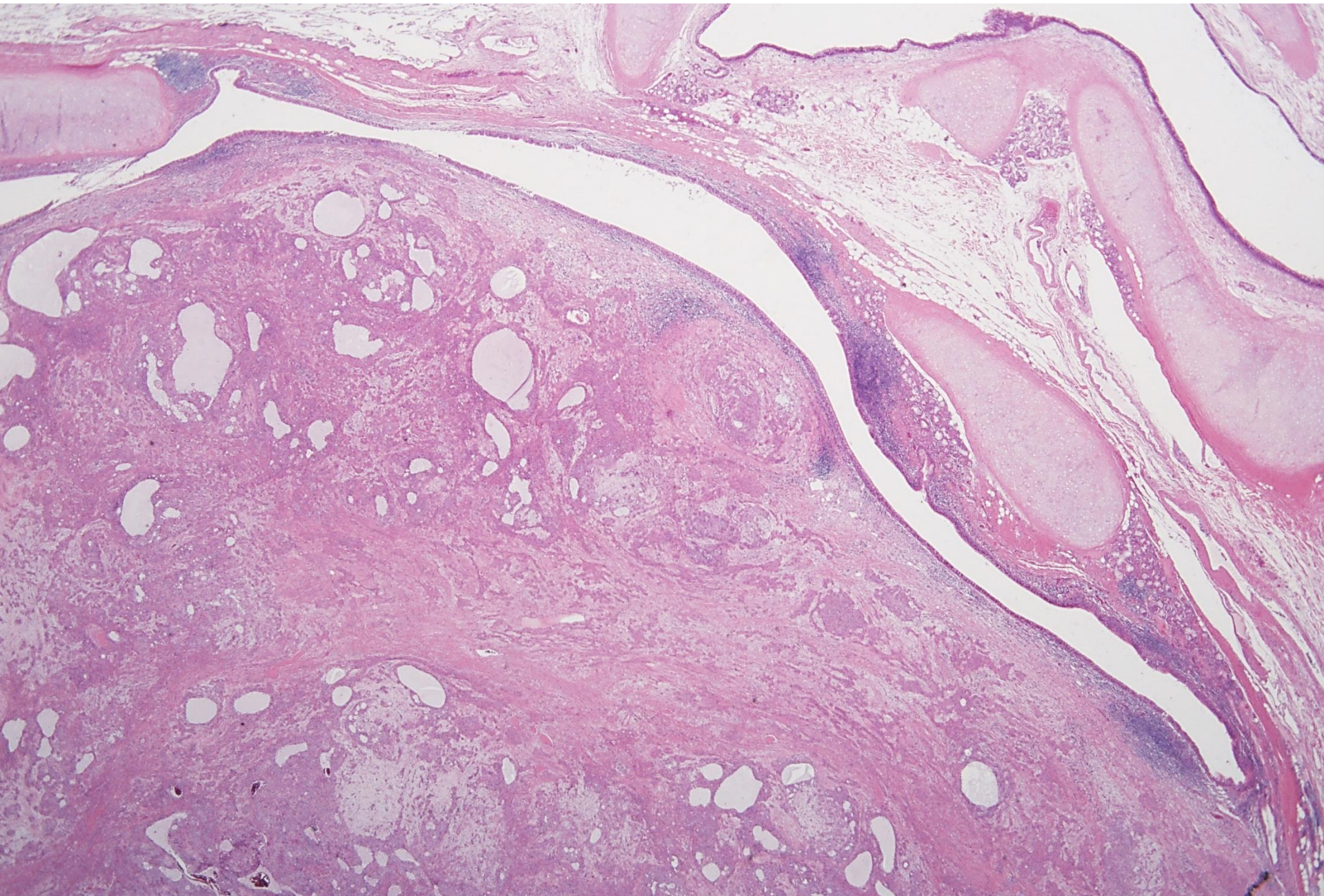
好発部位：中枢気管支あるいは気管内。

肉眼所見

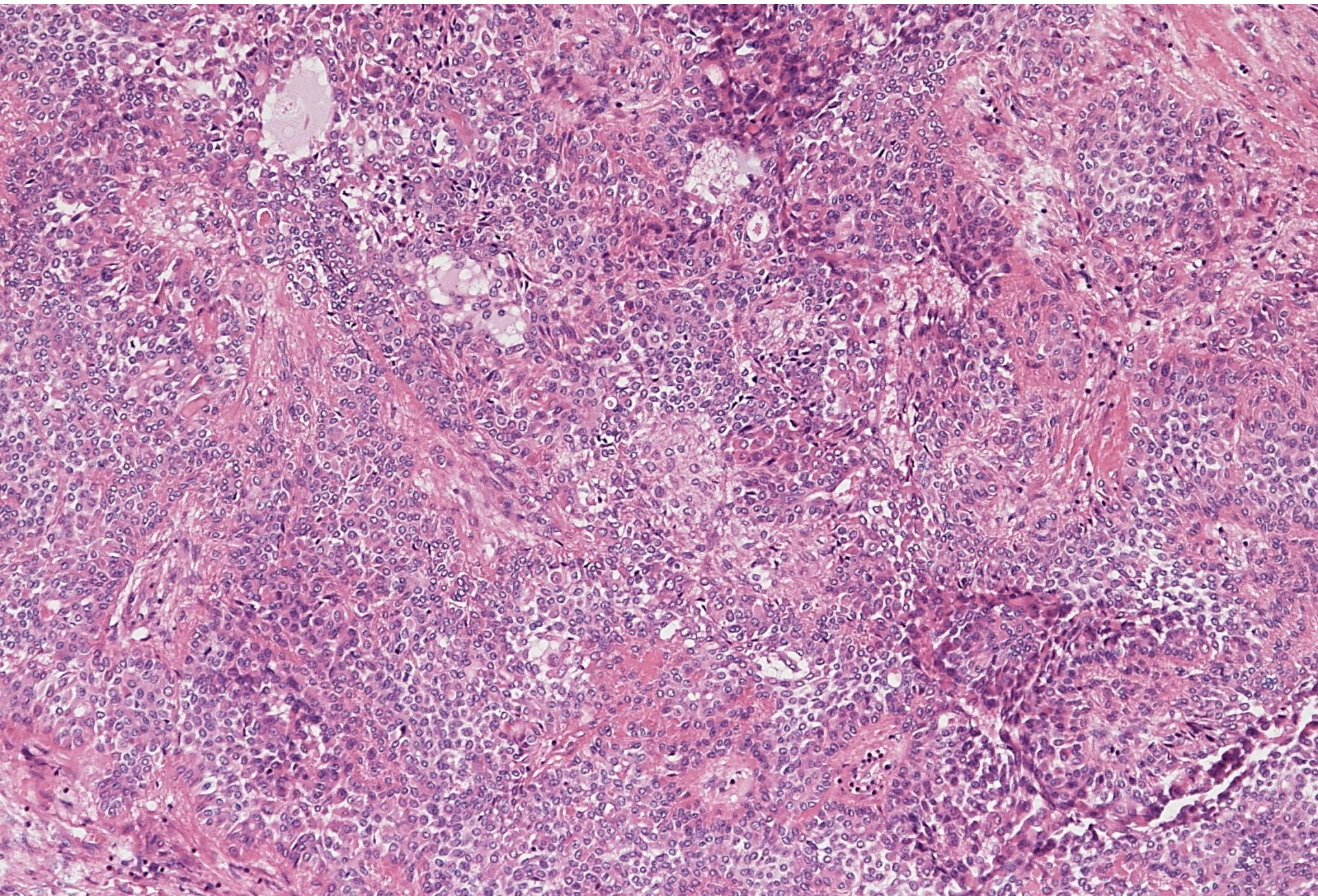


右下葉の気管支内腔を閉塞する $2.6 \times 2.4 \times 1.5$ cm大の腫瘍

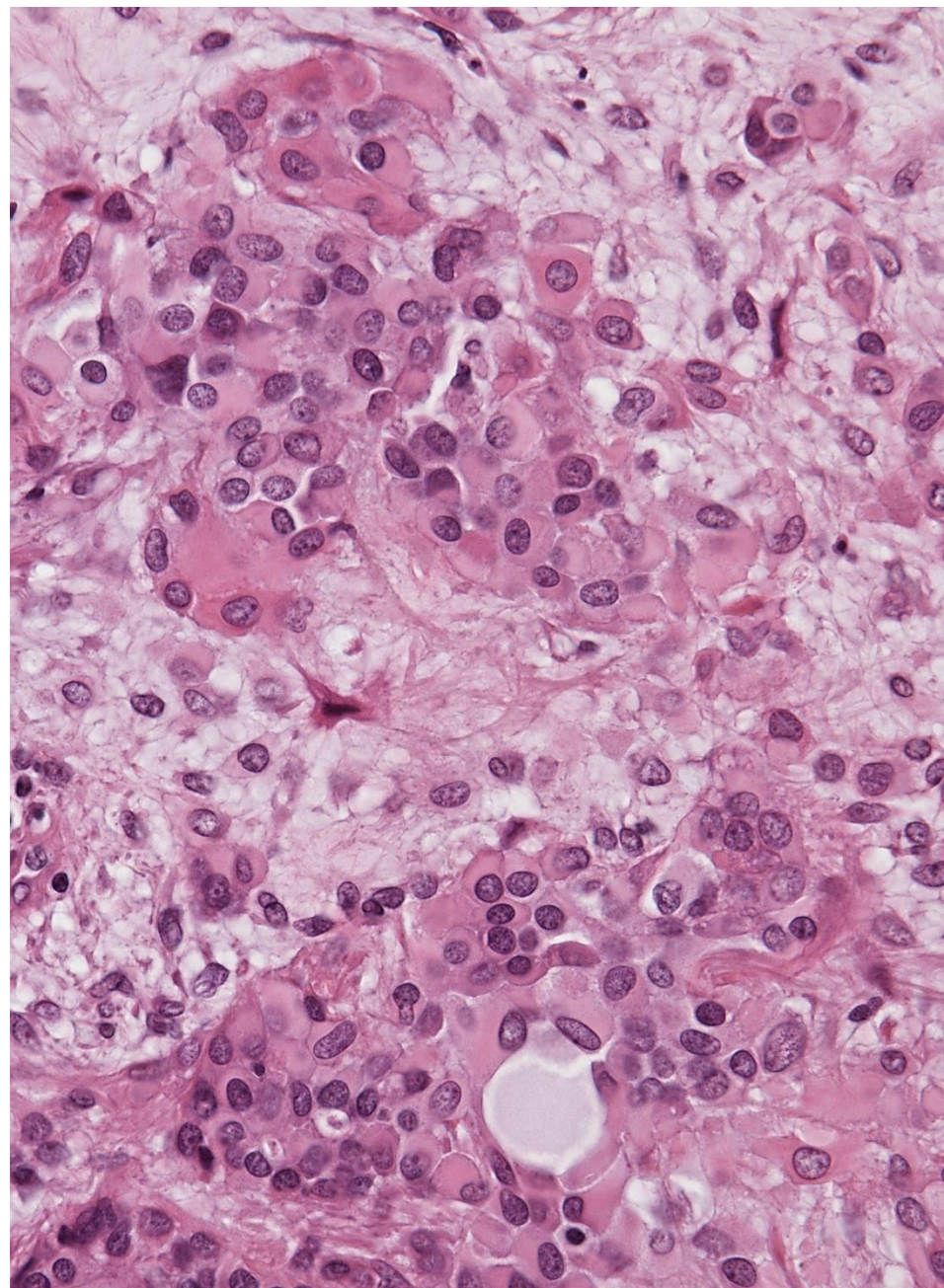
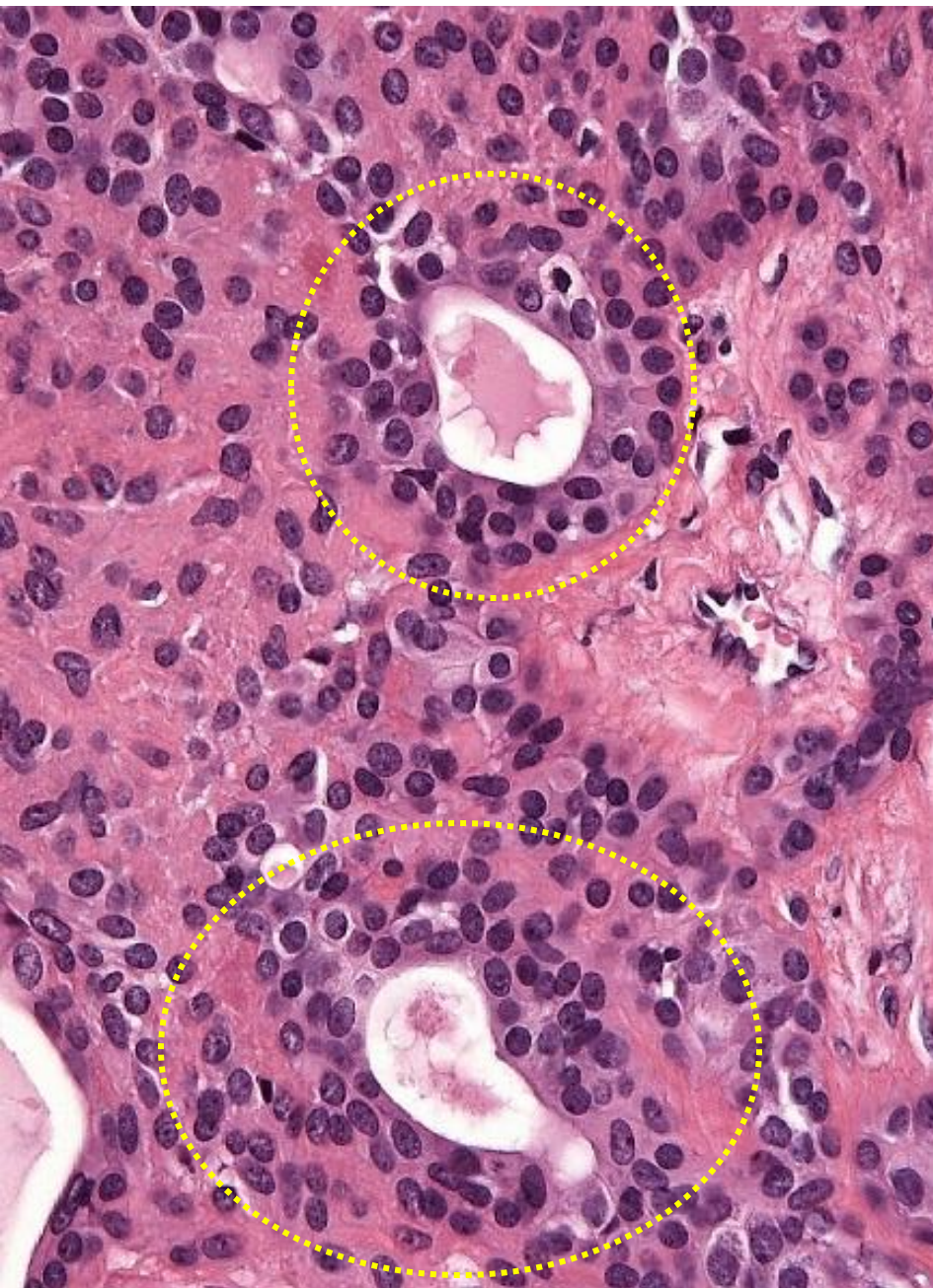
組織所見



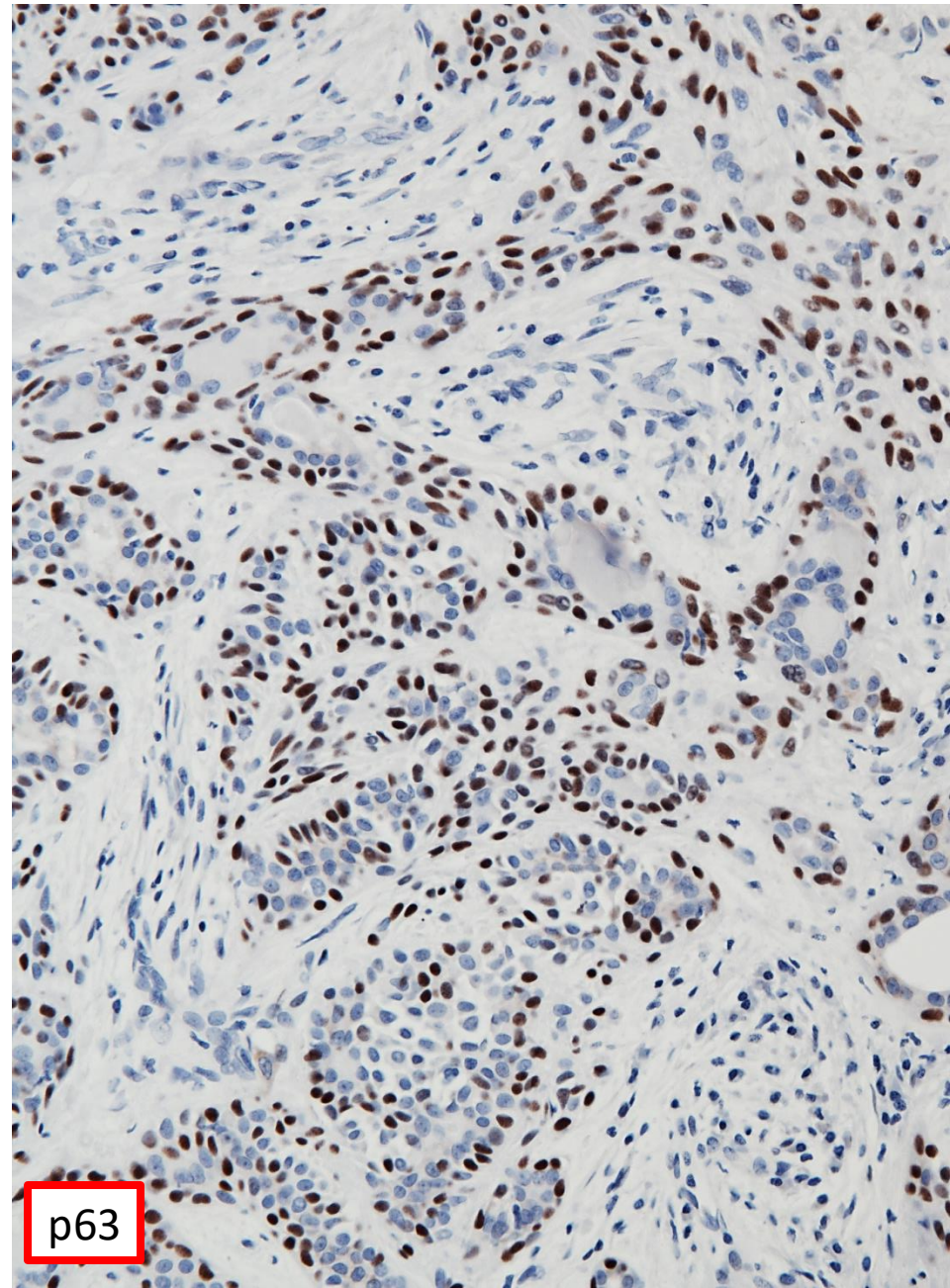
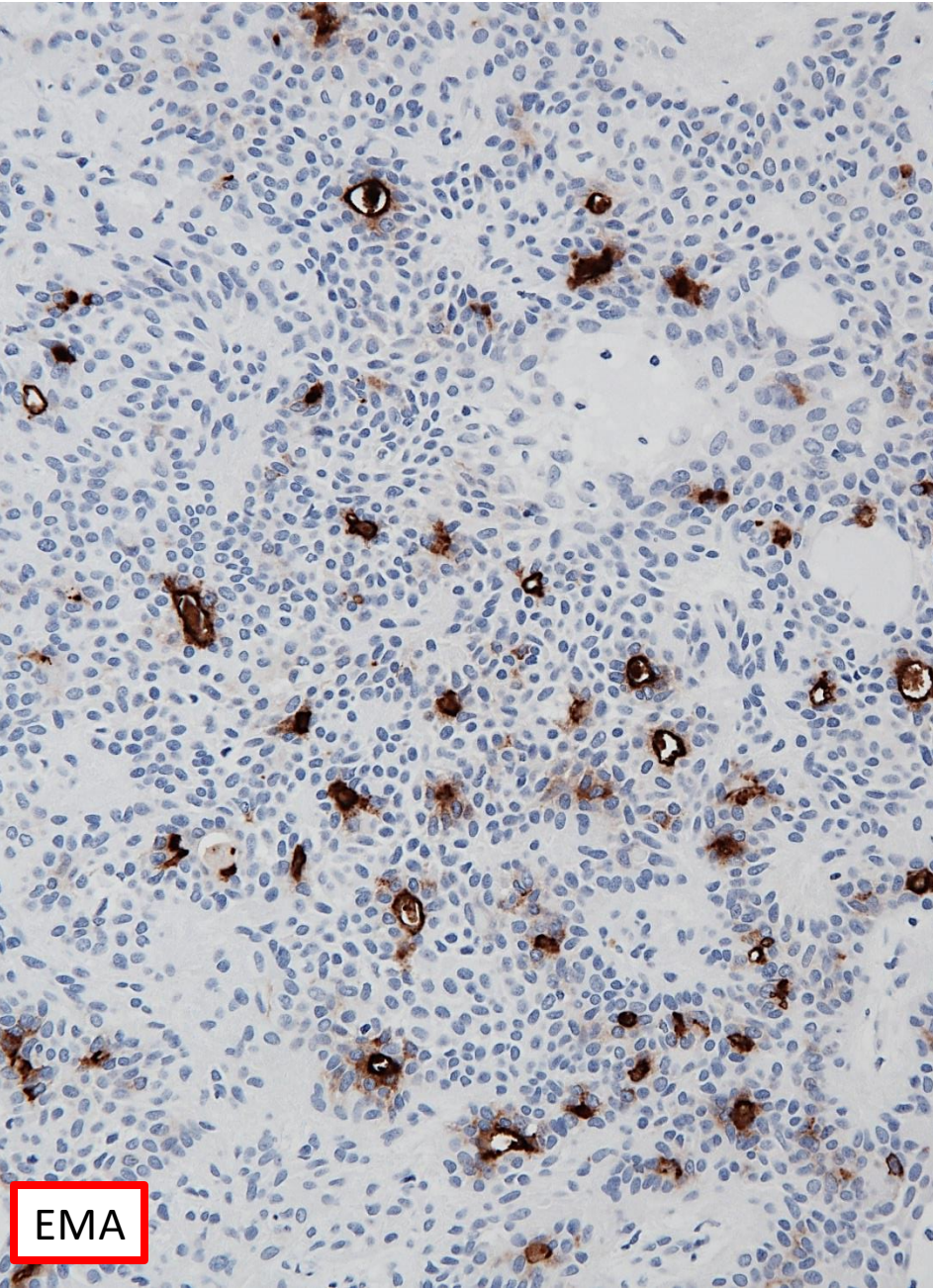
組織所見



組織所見



免疫組織化学所見



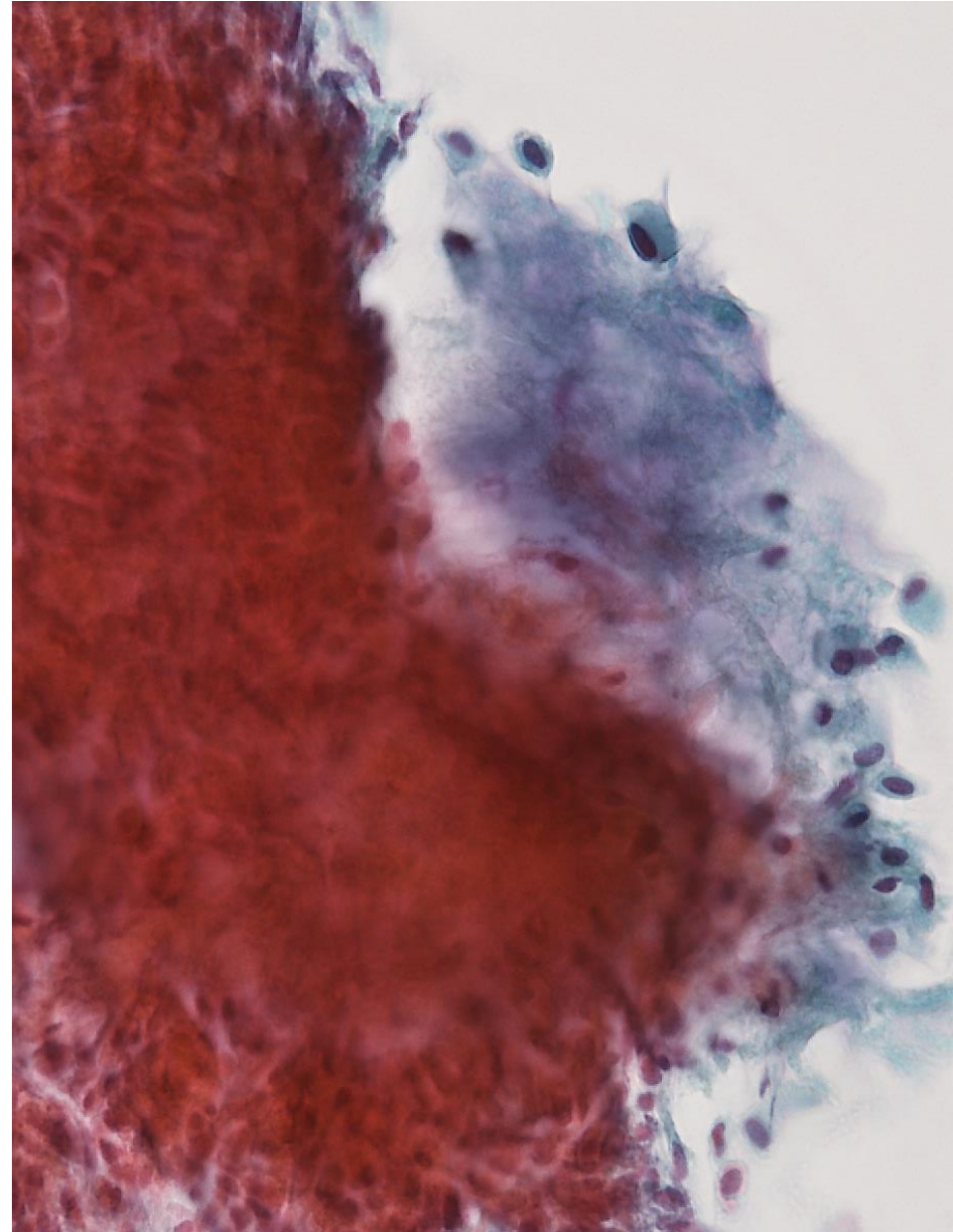
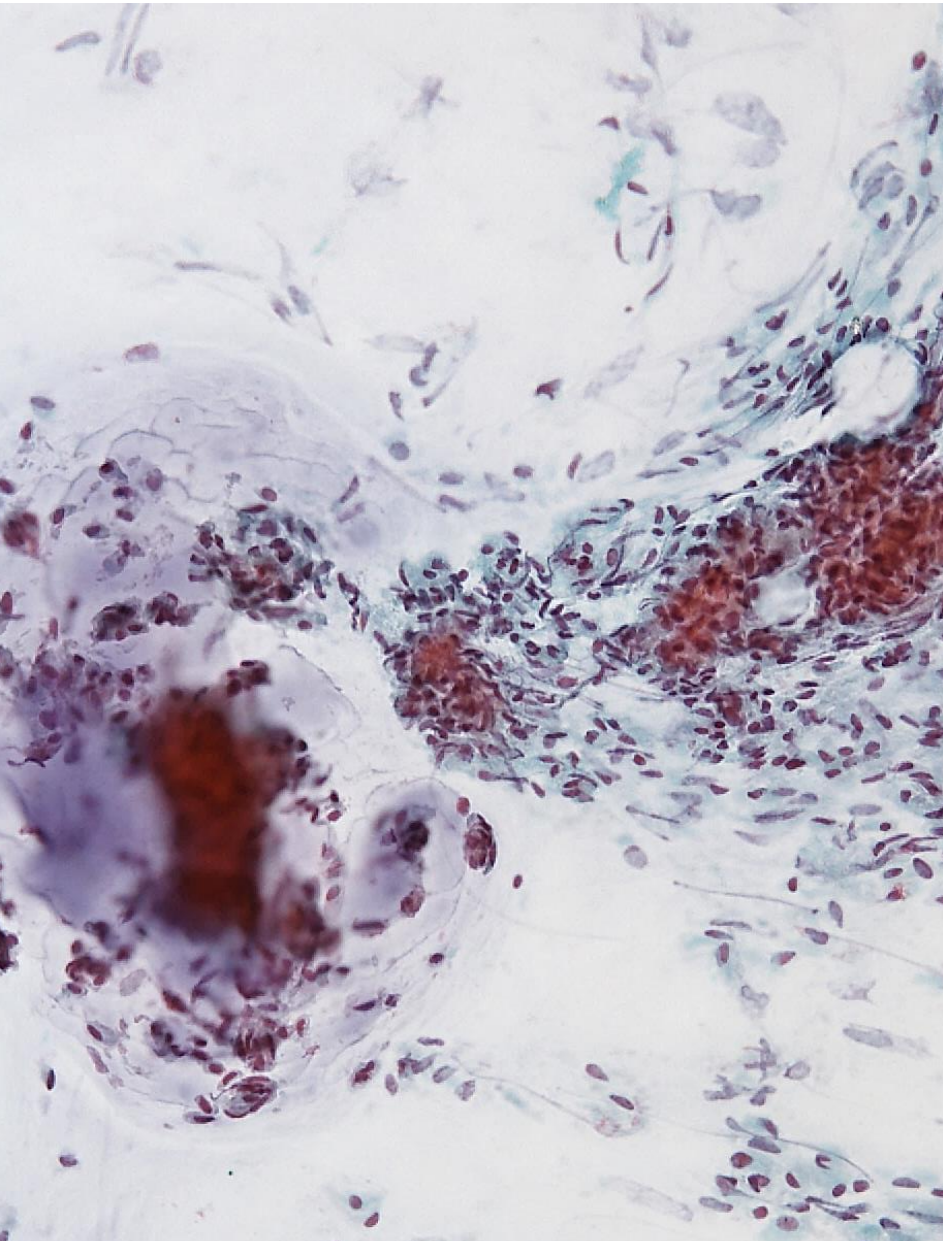
免疫組織化学結果

<u>筋上皮マーカー</u>		<u>肺胞上皮マーカー</u>	
p63	+(*1)	TTF-1	— (*2)
p40	+	<u>神経内分泌腫瘍マーカー</u>	
S-100	+	Chromogranin A	—
α -SMA	+	Synaptophysin	—
Calponin	+	CD56	— (*2)
<u>腺上皮マーカー</u>		<u>増殖能マーカー</u>	
EMA	+	Ki-67	~3%

*1: diffuse

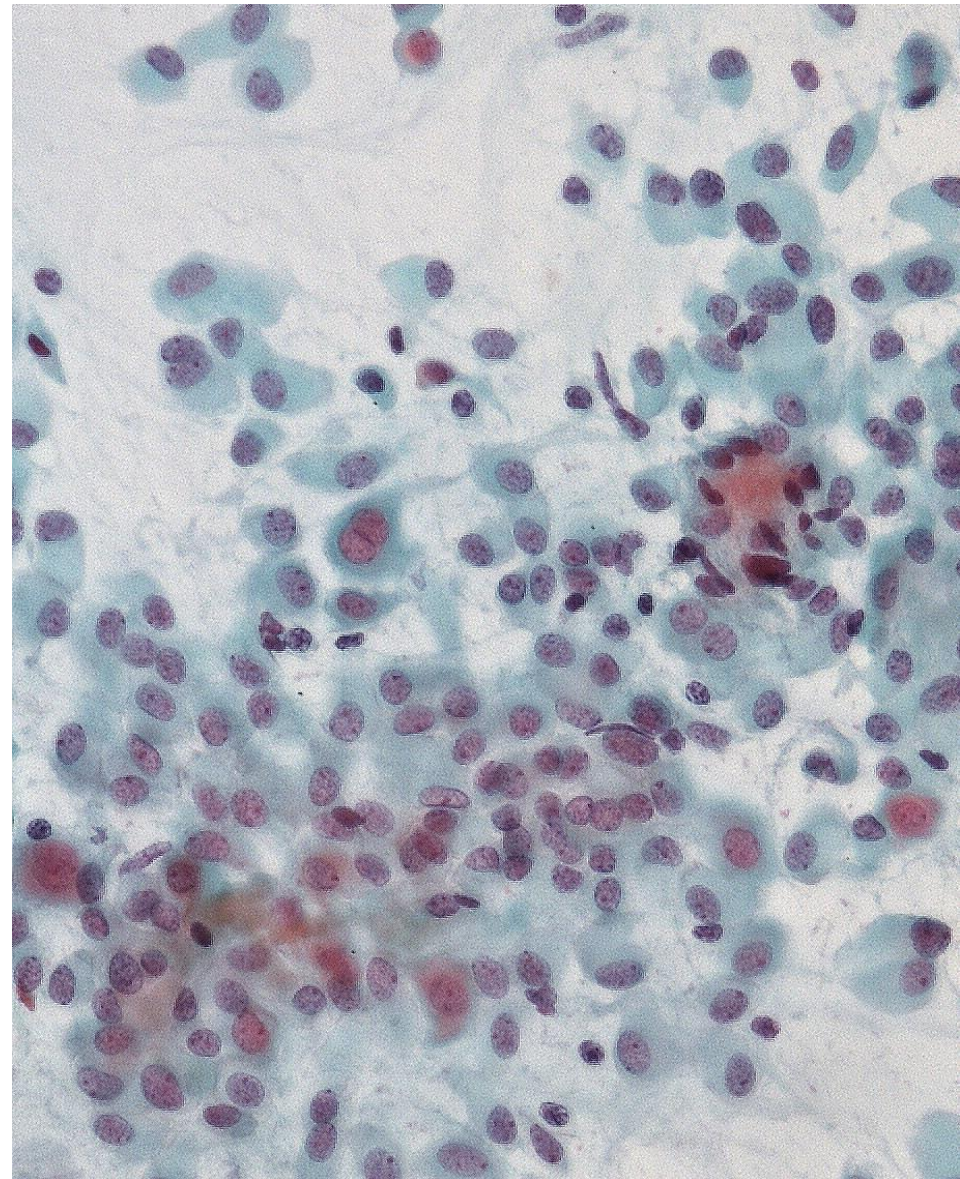
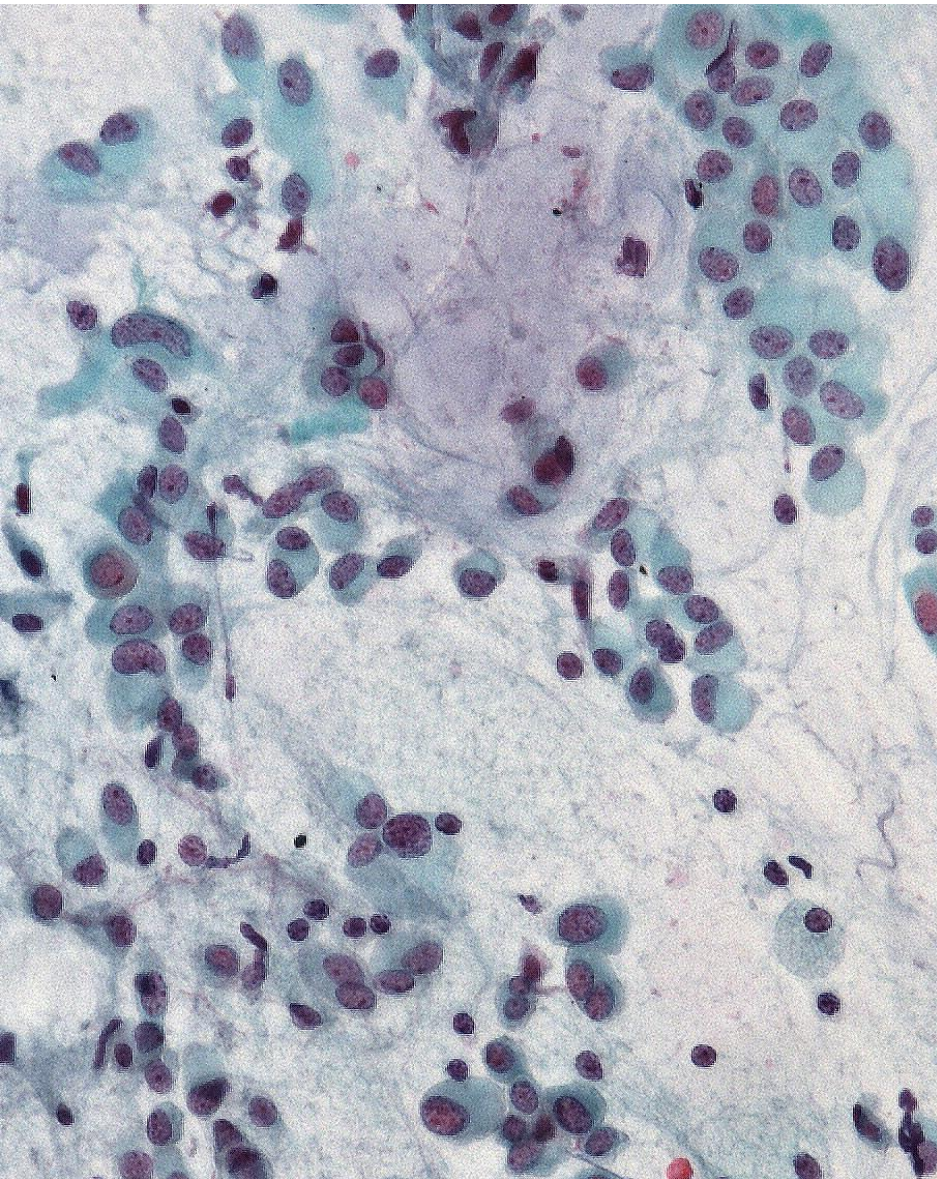
*2: focal, weak

典型的な多形腺腫の細胞所見(別症例)



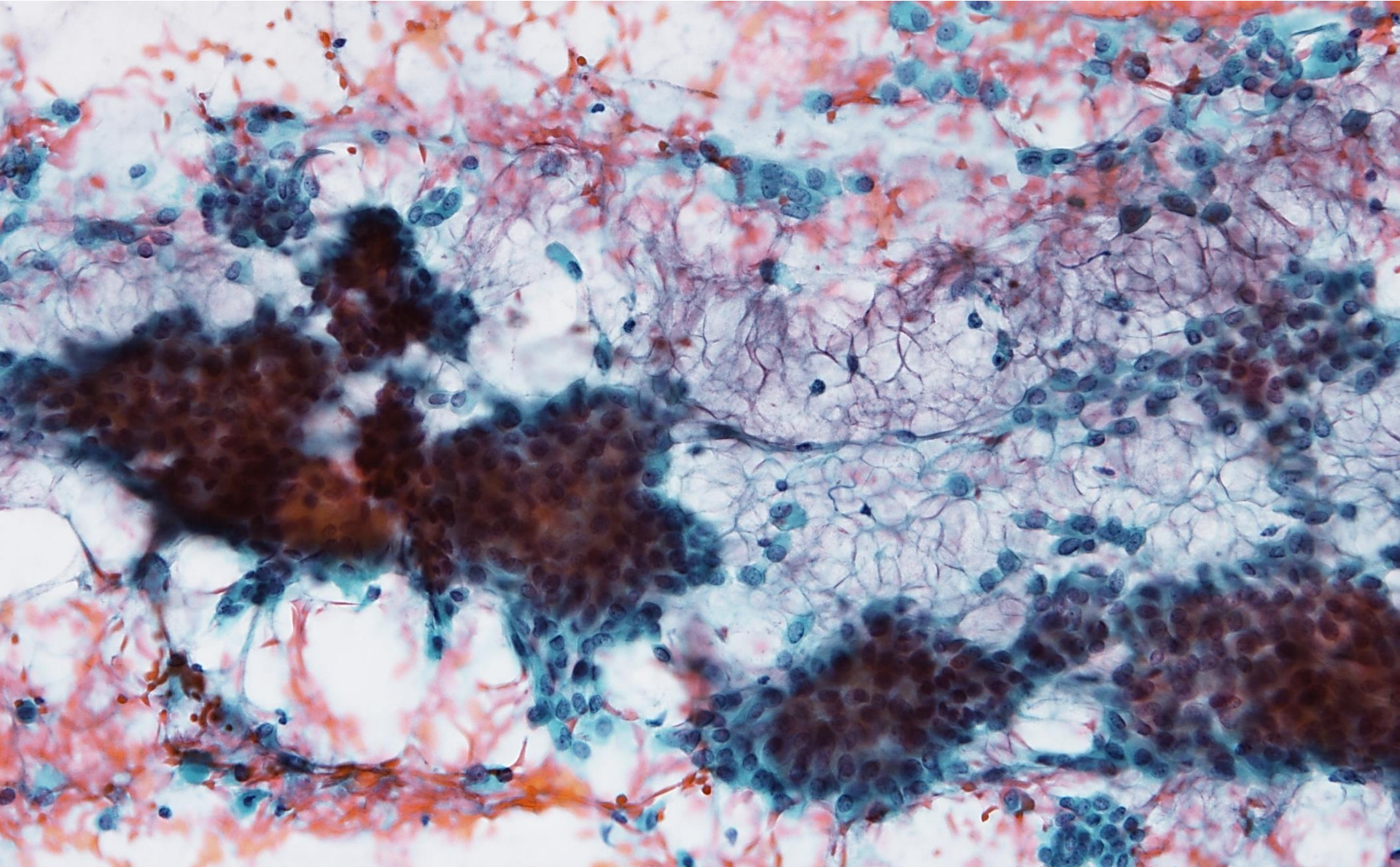
粘液様物質とともに類円形～紡錘形核を有する上皮様細胞集団が出現.

典型的な多形腺腫の細胞所見(別症例)



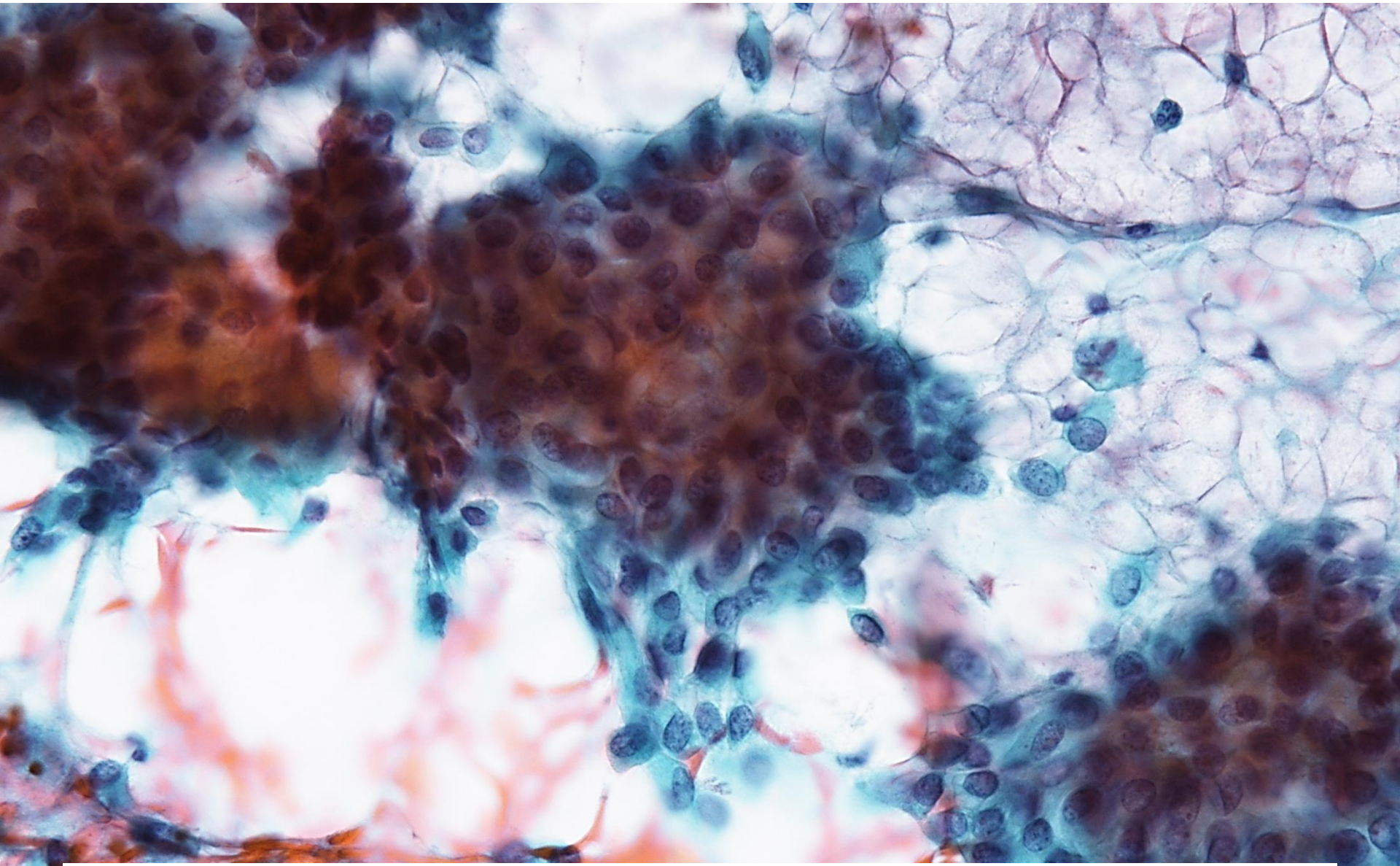
粘液様物質とともに、核偏在した形質細胞様細胞が結合性の緩い集団から孤立性に出現.

細胞所見



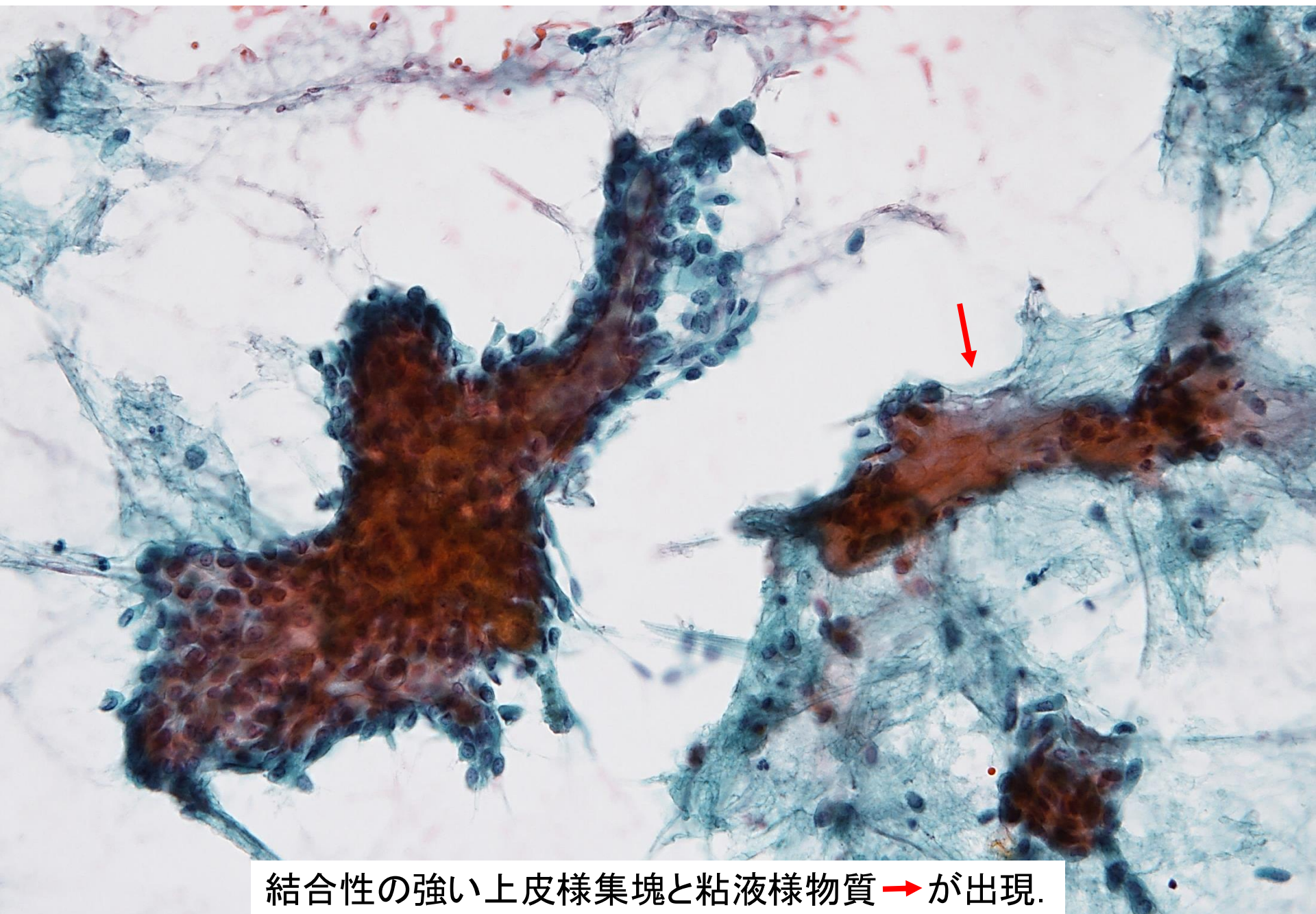
類円形～楕円形核を有する上皮様細胞が結合性の緩い集団ないし孤立性に出現.

細胞所見



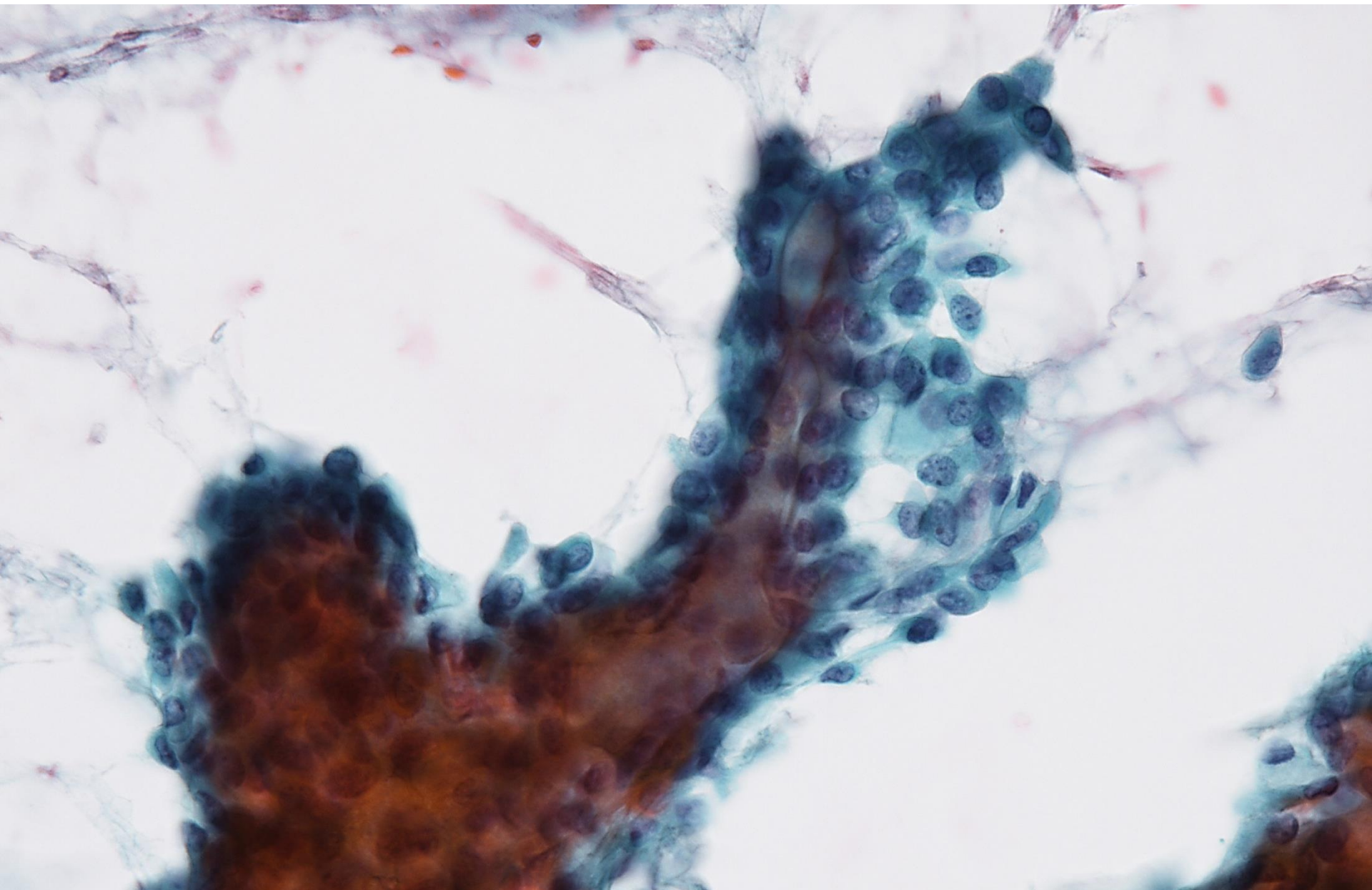
上皮様細胞は核偏在傾向がみられ，細胞質はライトグリーン好染性を示す．核クロマチンは微細顆粒状～細顆粒状で，核形不整や核小体は目立たない．

細胞所見



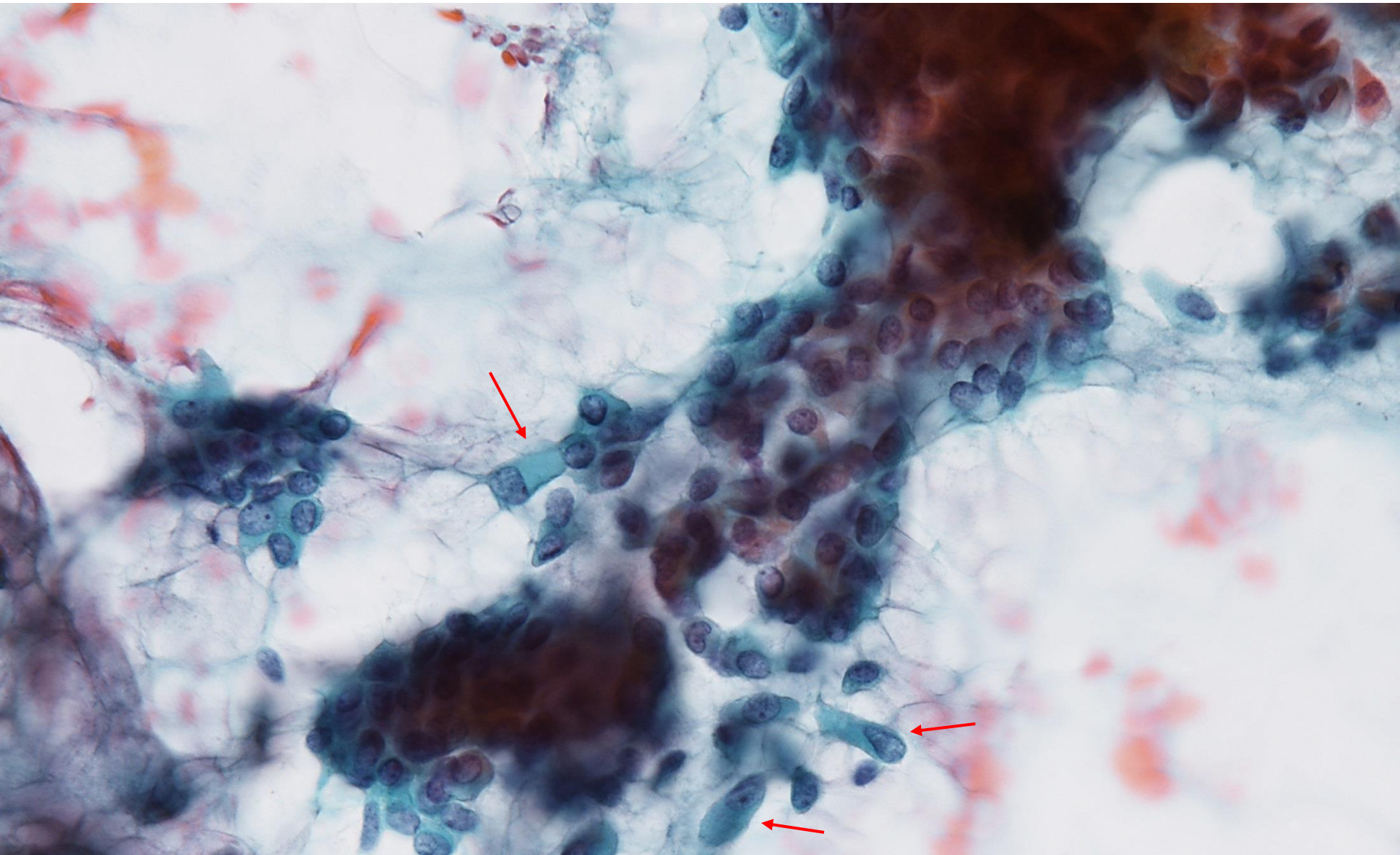
結合性の強い上皮様集塊と粘液様物質 → が出現.

細胞所見



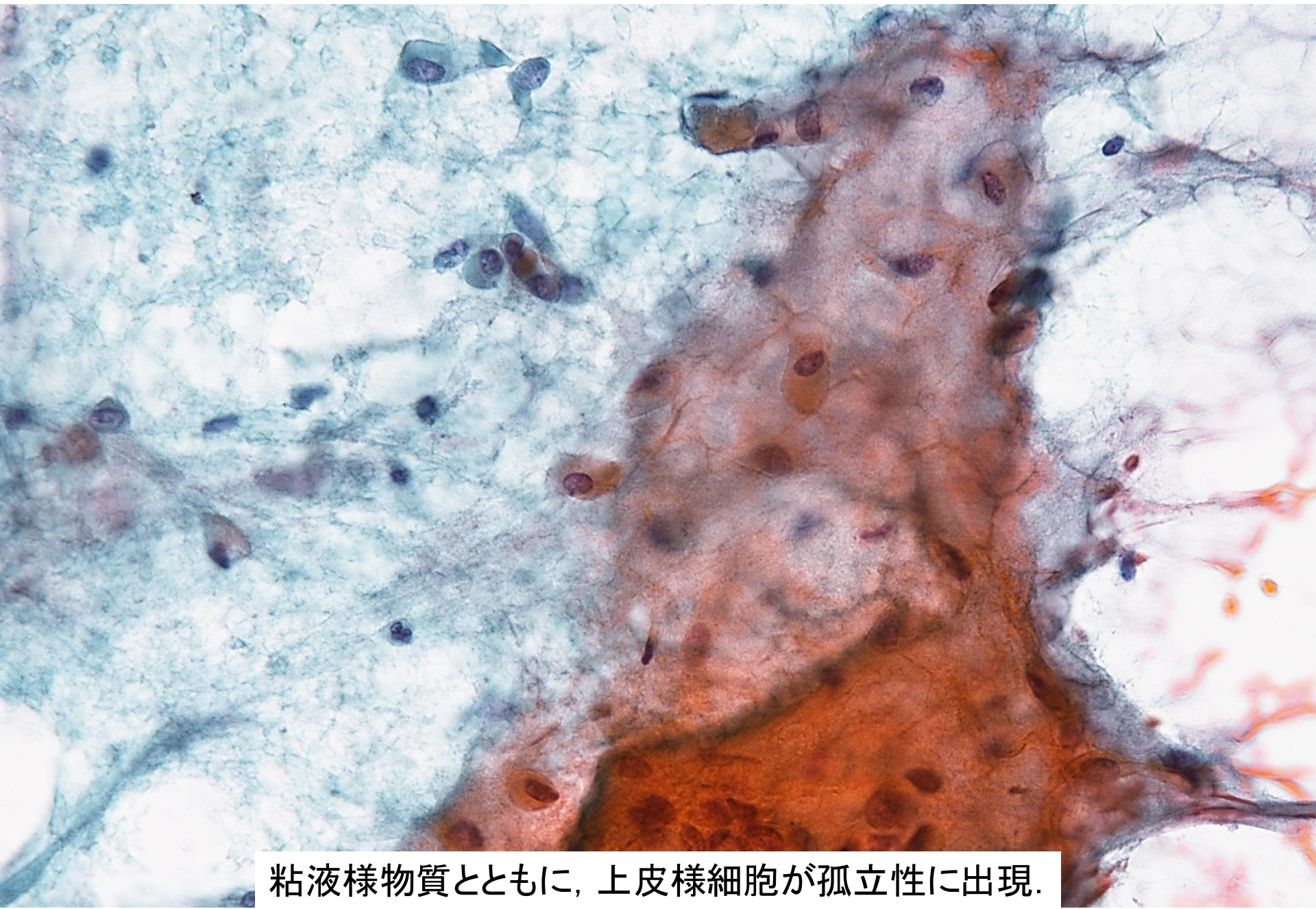
乳頭状構造を示す細胞集塊がみられるが、核異型は目立たない。

細胞所見



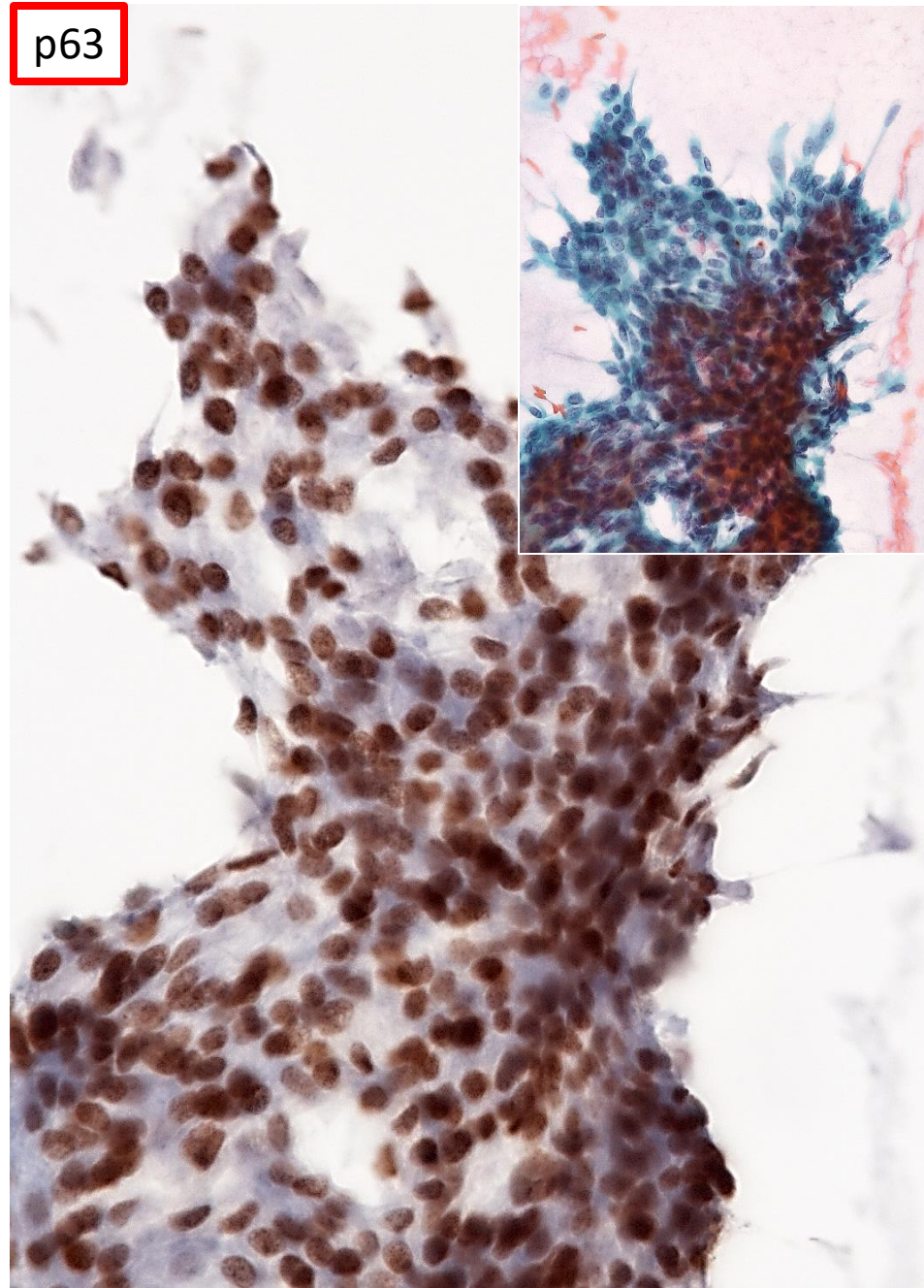
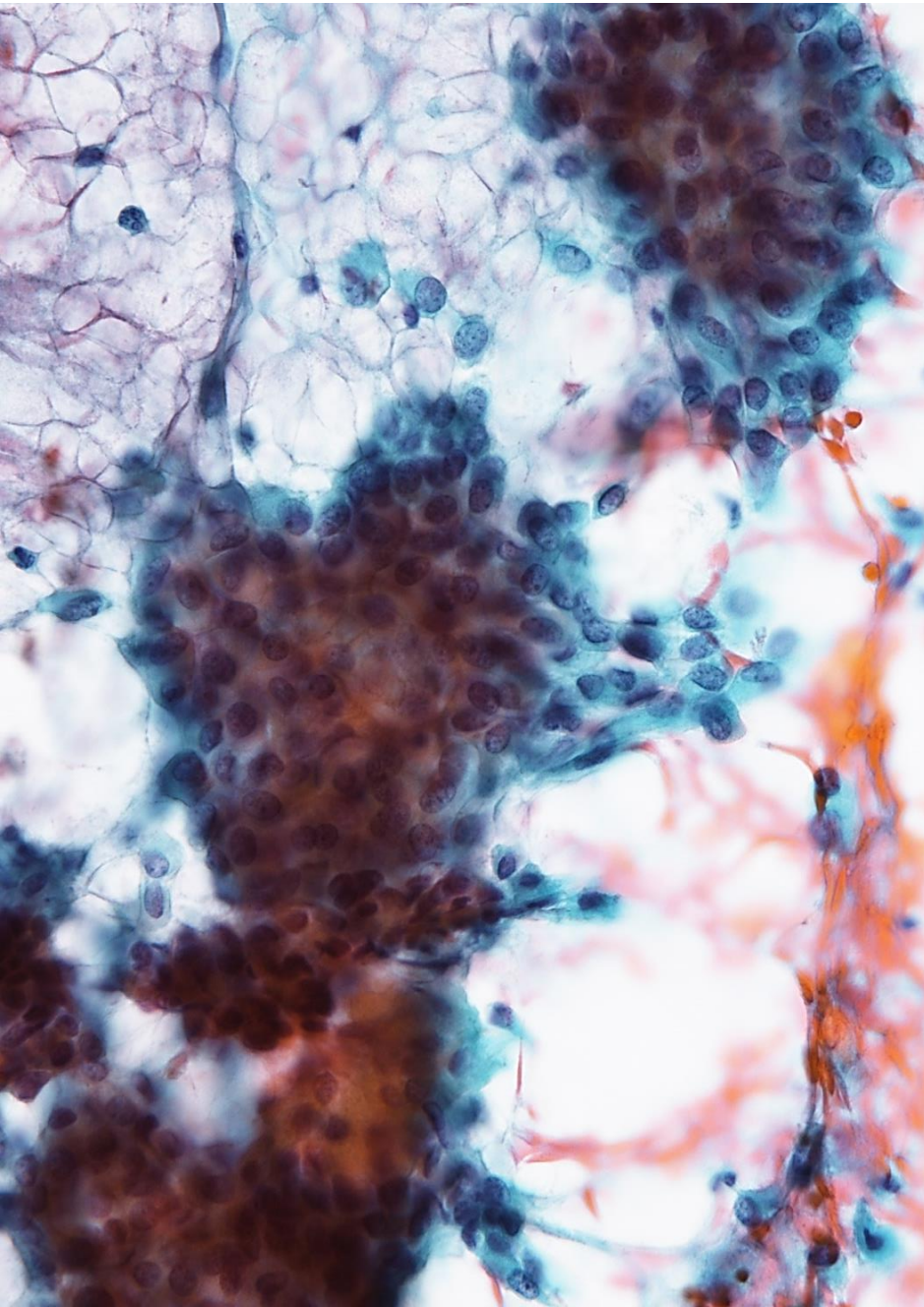
上皮様細胞集塊からほつれた細胞は、核偏在性を示す。
細胞質内の粘液は明らかではない。

細胞所見



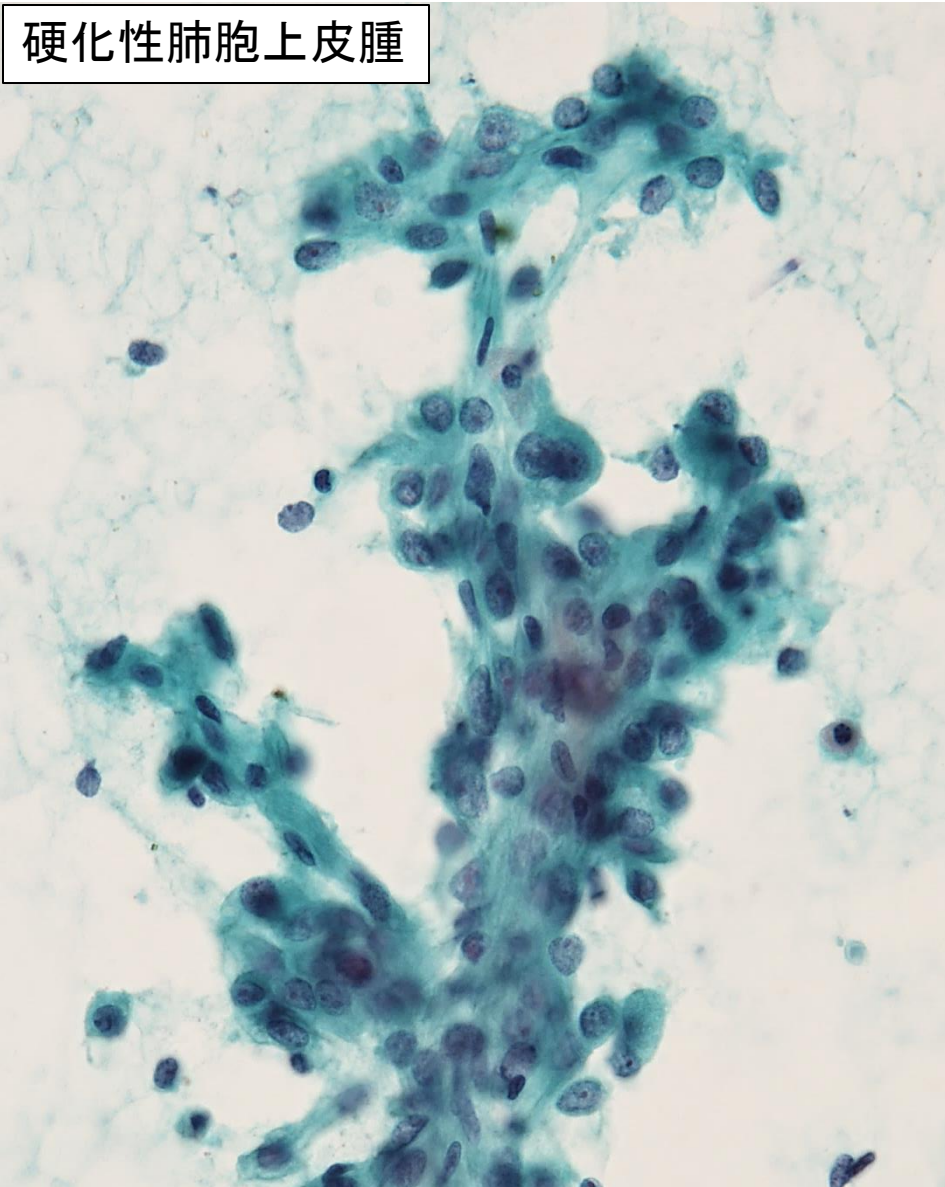
粘液様物質とともに、上皮様細胞が孤立性に出現.

免疫細胞化学所見



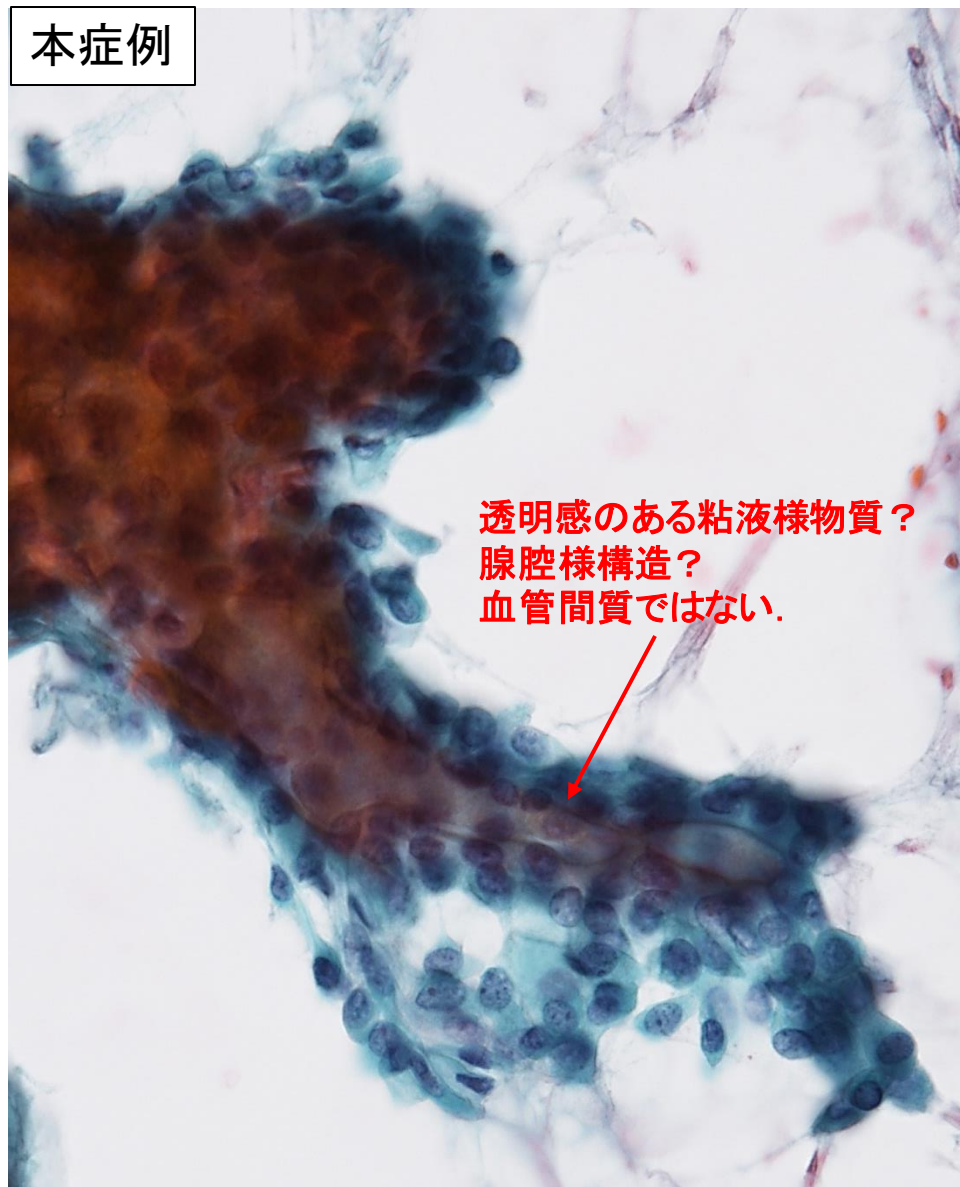
鑑別診断

硬化性肺胞上皮腫



背景にヘモジデリン貪食組織球がみられる。
血管間質を軸に乳頭状に増生。

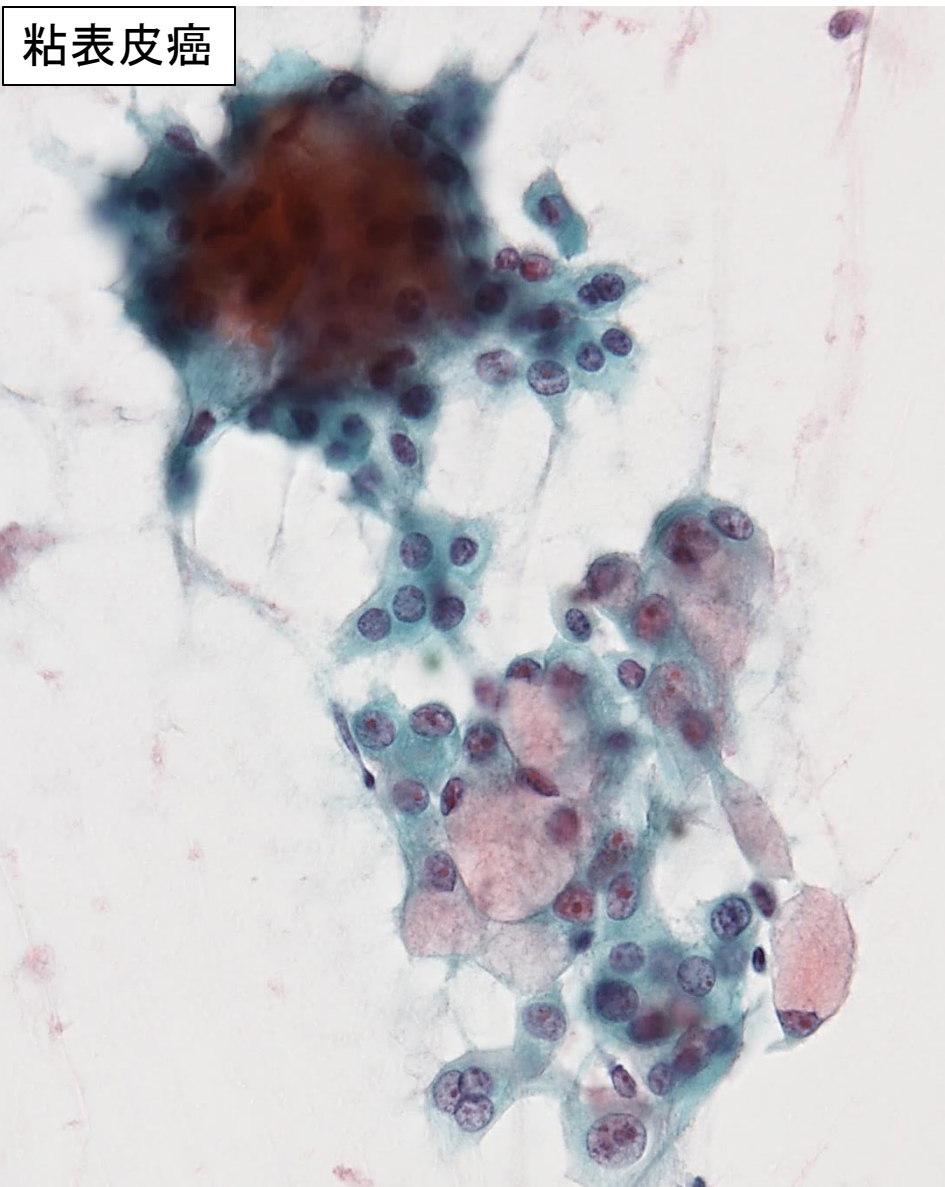
本症例



背景にヘモジデリン貪食組織球は目立たない。

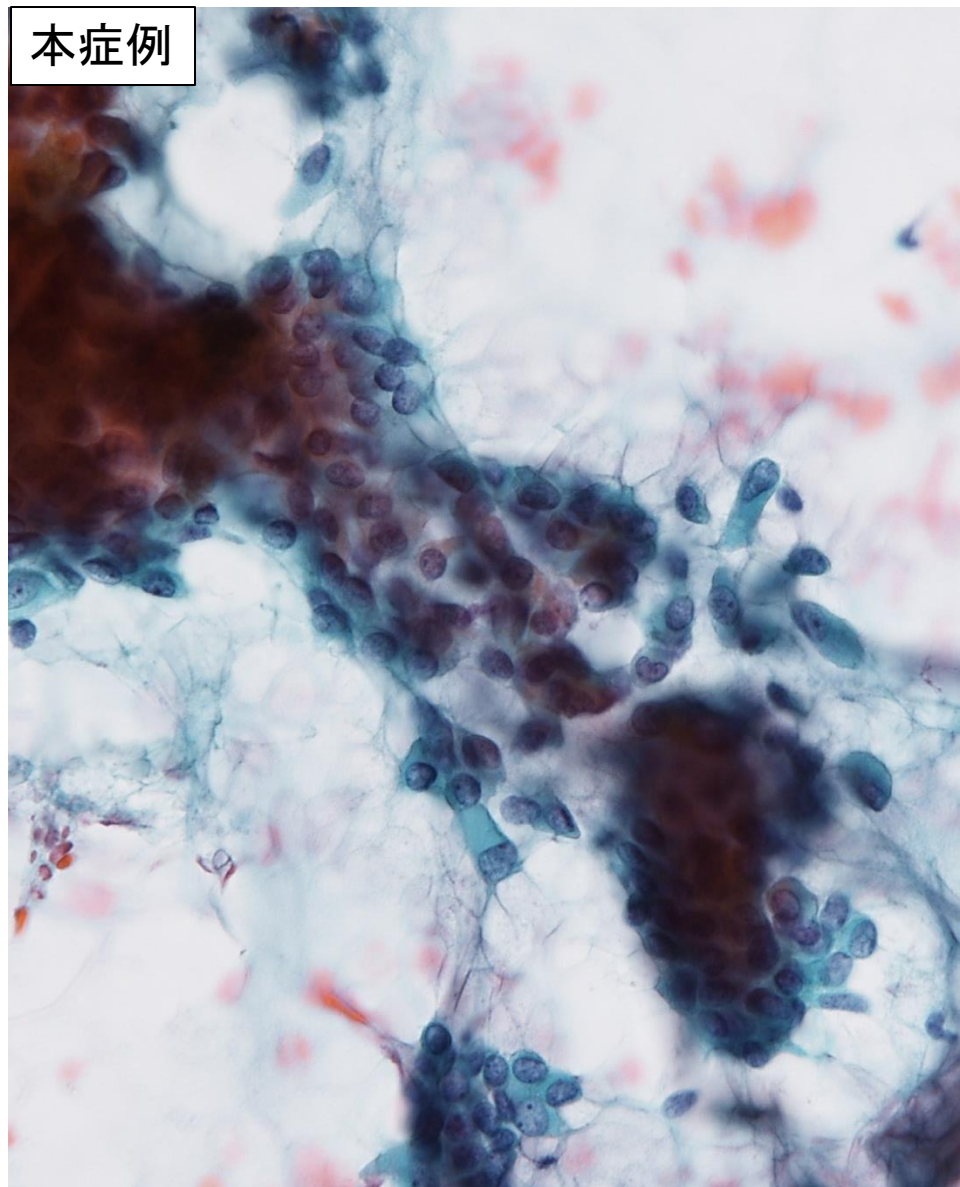
鑑別診断

粘表皮癌



扁平上皮細胞や粘液産生細胞，中間細胞の出現.

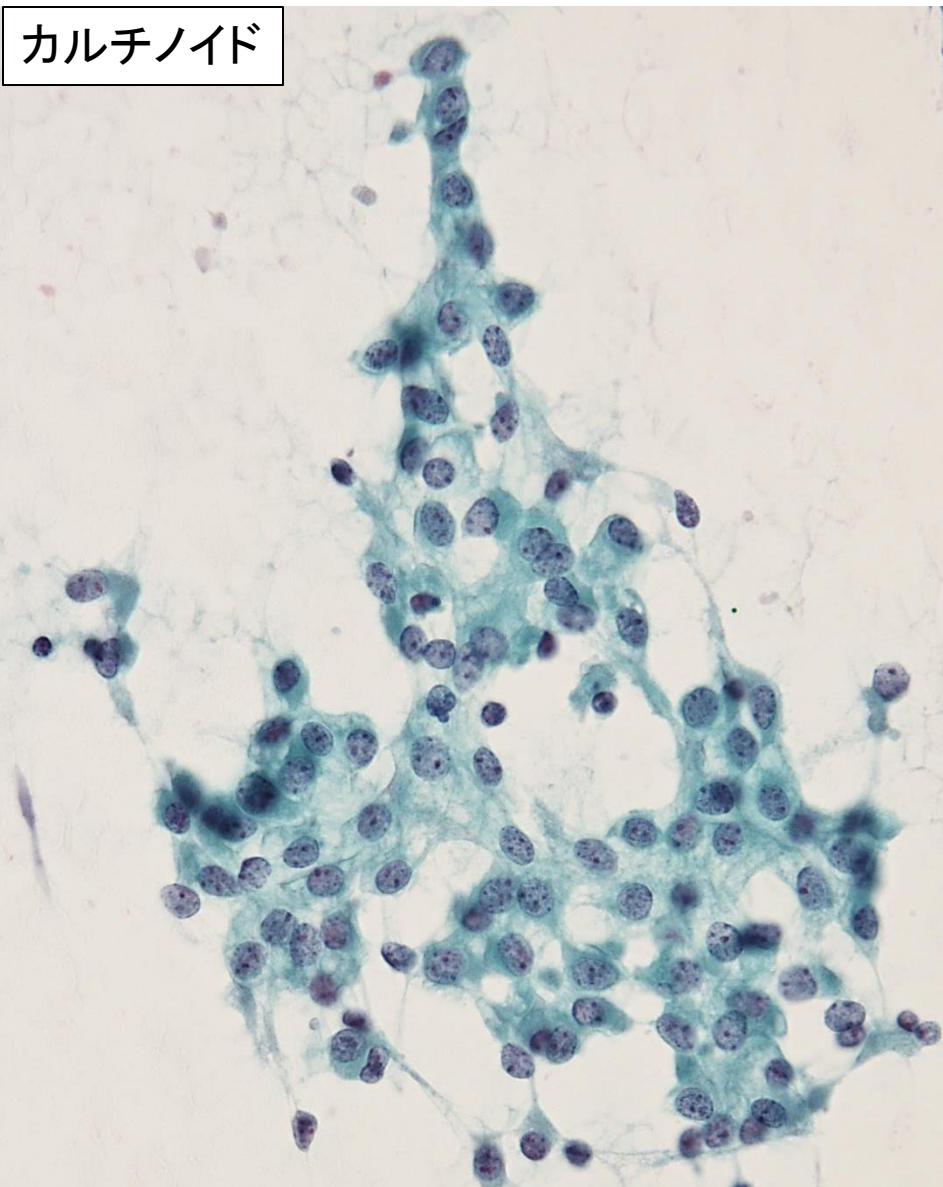
本症例



明らかな粘液産生細胞の混在はみられない.

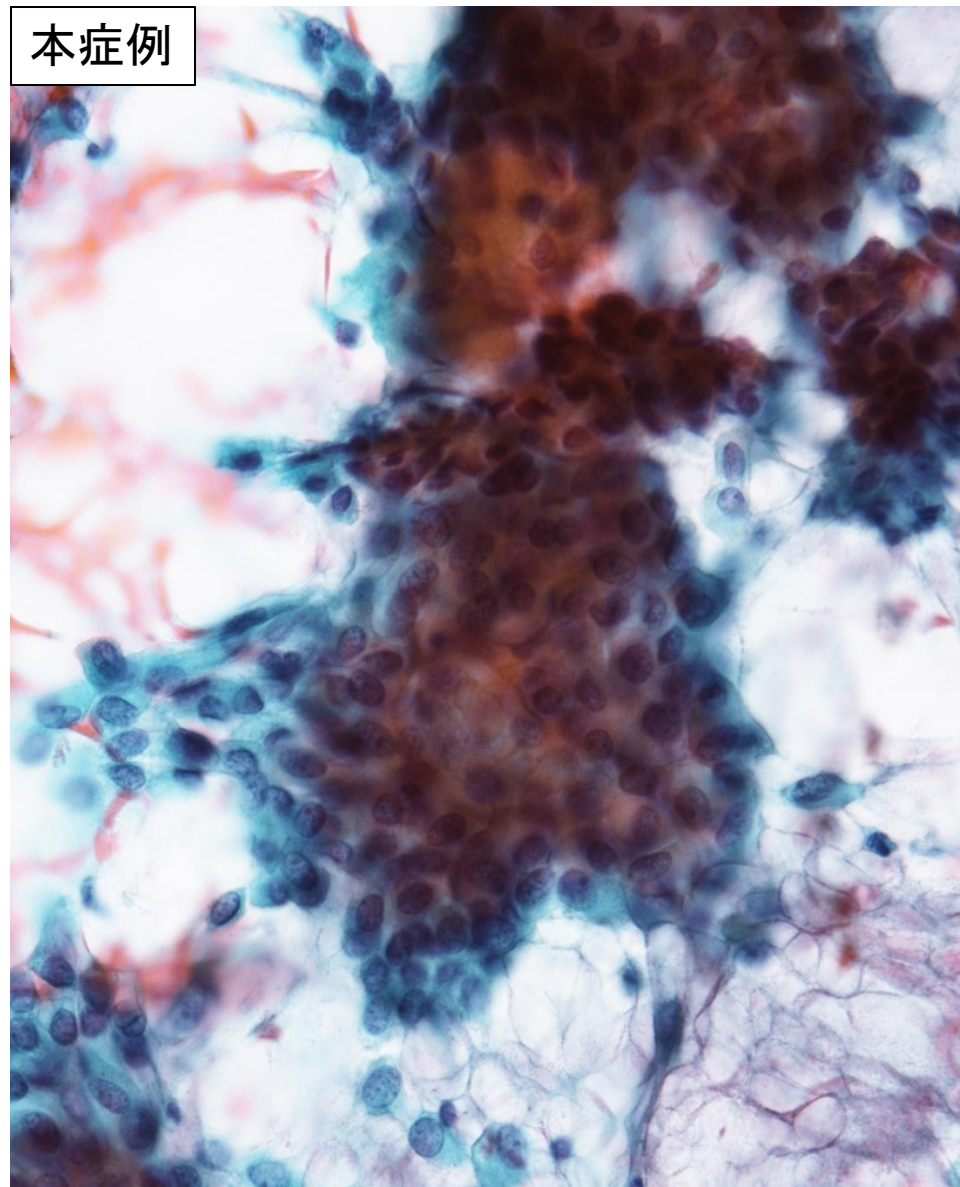
鑑別診断

カルチノイド



平面的，疎結合性に出現。
ごましお状のクロマチンパターンを呈する。

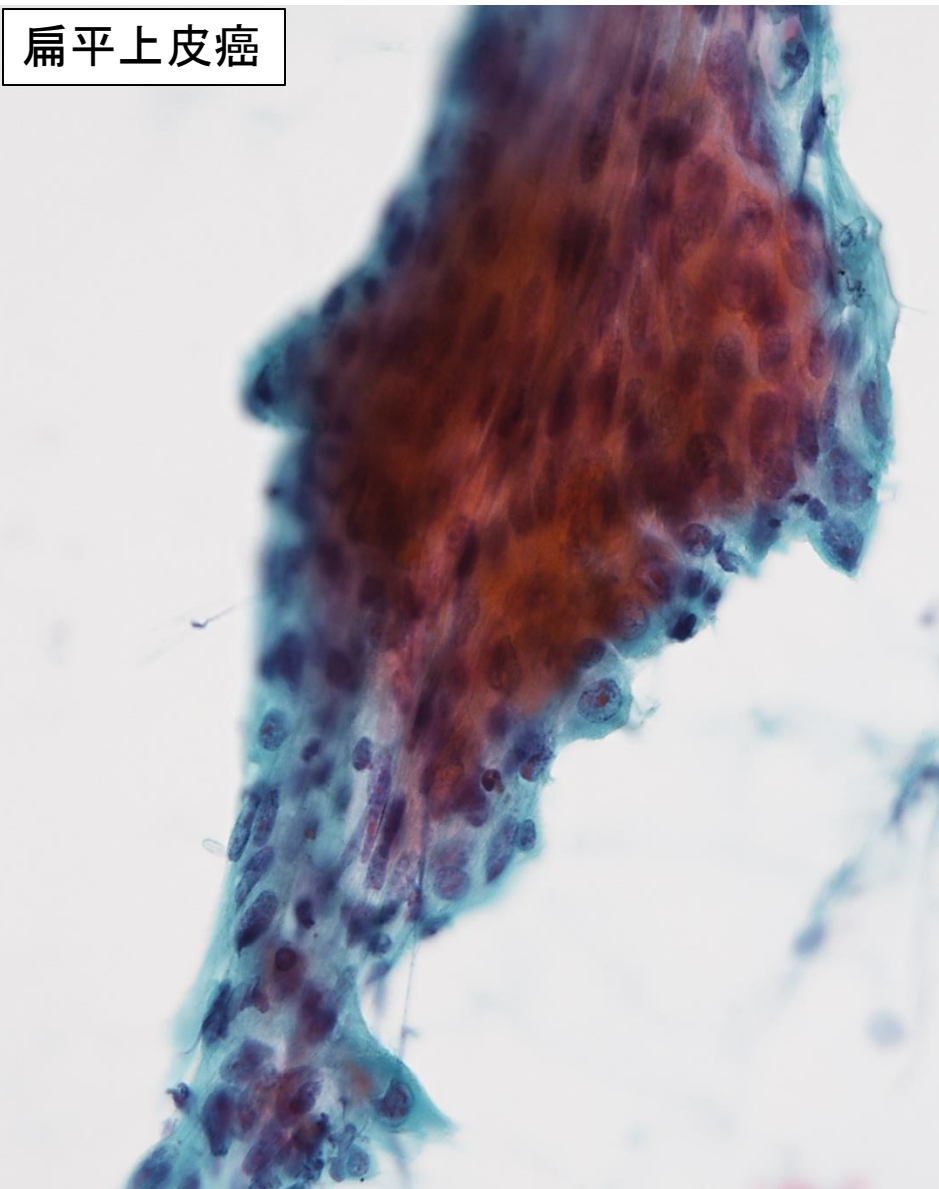
本症例



結合性が強く，大きな細胞集塊。
細顆粒状の核クロマチンを呈する。

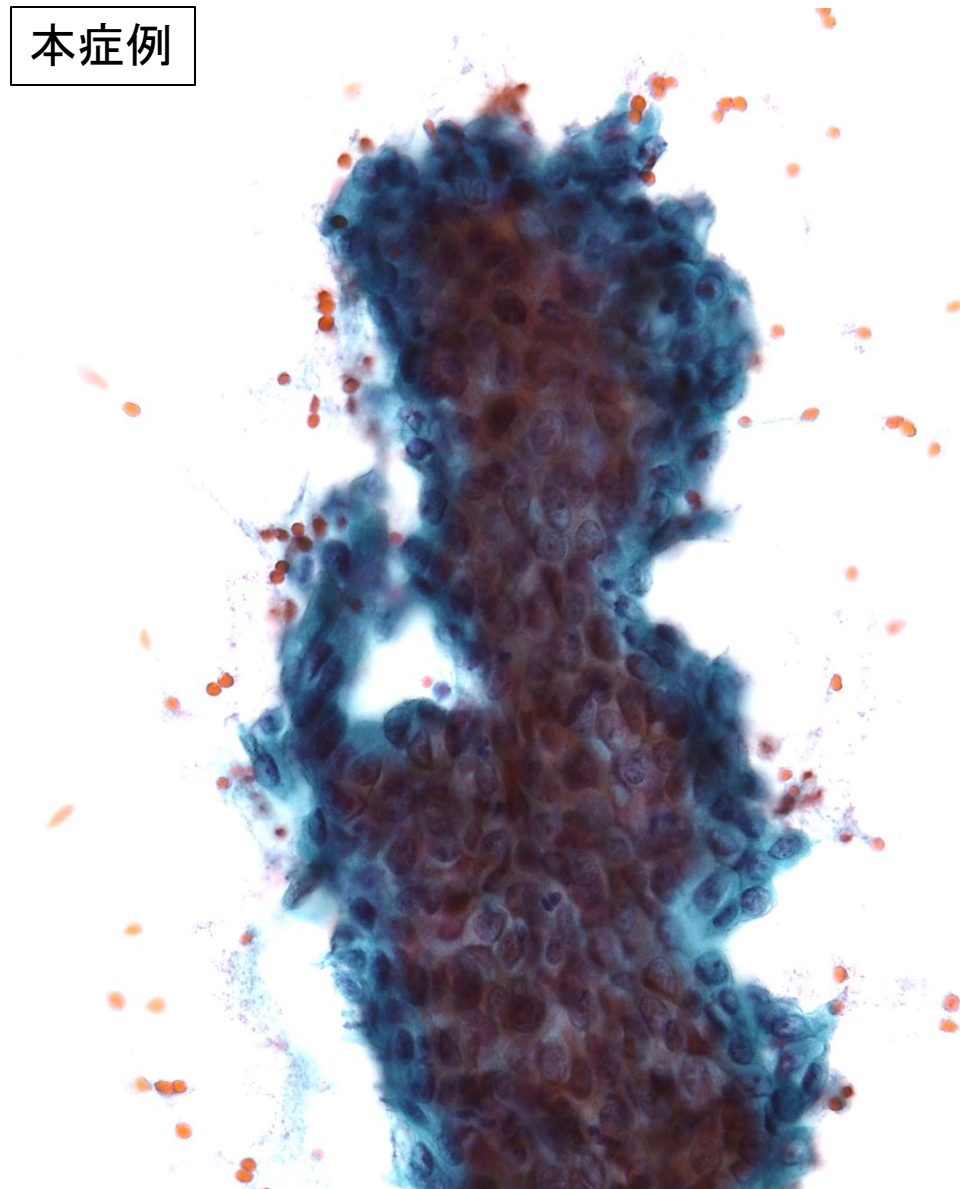
鑑別診断

扁平上皮癌



細胞集塊内に、流れ状配列を示す。
細胞質は厚く、核形不整がみられる。

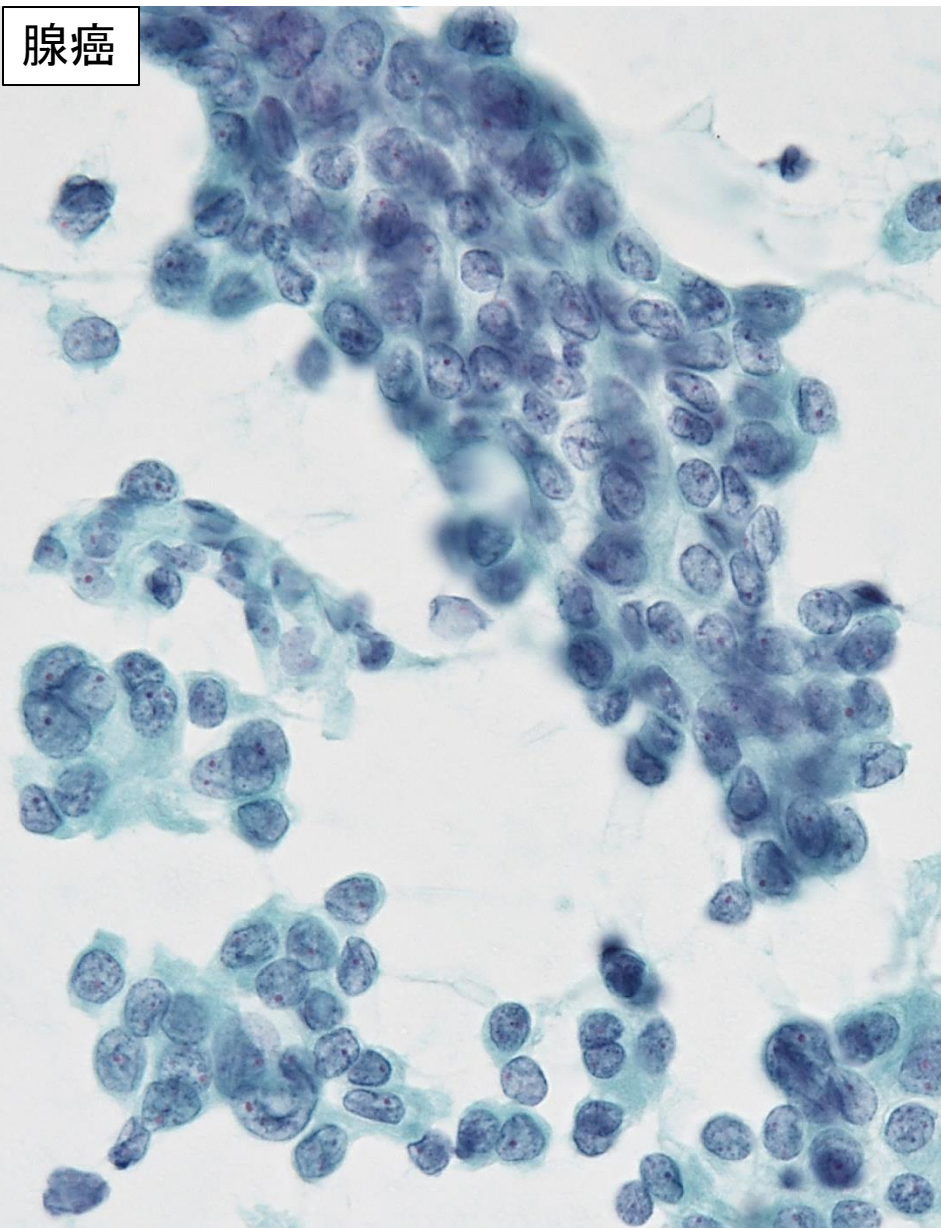
本症例



細胞密度の高い集塊。
核は小型で、核形不整は目立たない。

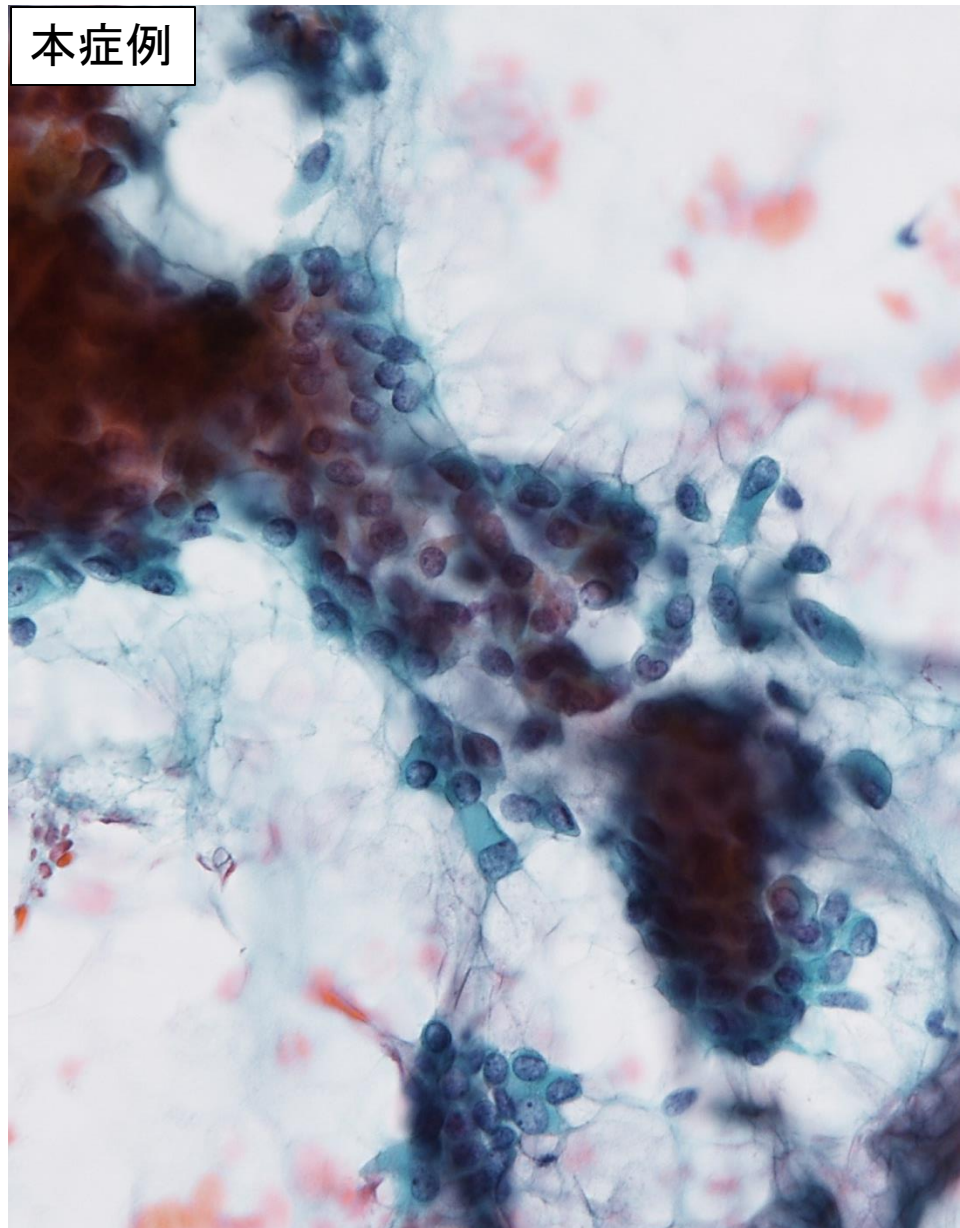
鑑別診断

腺癌



核腫大，核形不整が目立つ．

本症例



核は小型で，核形不整は目立たない．

【まとめ】

- 典型的な気管・気管支原発の多形腺腫では唾液腺と同様に、myxoidな背景に、形質細胞様細胞や紡錐形細胞をはじめとする核異型の乏しい細胞が多彩な像で出現する。
- 本症例はmyxoidな部分が目立たず、核偏在した細胞が結合性の緩い集団から孤立性に出現していたことや、細胞密度の高い上皮様細胞集団が多数出現していたことから、腺癌や扁平上皮癌などの悪性腫瘍との鑑別を要した。
- 気管・気管支原発の腫瘍の細胞診には、多形腺腫を念頭に置いた診断が必要と考えられる。